

佐久市佐久と支援金事業 自己評価報告書

評価日 平成30年 3月 31日

団体名	山の中ガーデン小径		
事業名	山の中ガーデン		
対象経費	118,191 円	支援金額	32,000 円

事業の目的・内容	目的 長野県佐久市にある1000坪の休耕田を利活用する方法の一環としてハーブガーデンを作るという試みを応援する事業を行ない、土作りやハーブや植物の育て方の講習、さらには収穫したハーブを利用したさまざまな講習会を行なう事により、市民と共に休耕田の利活用について考える機会とし、ハーブを普及させ親しんでもらうことを目的とする。
	内容 種蒔きと収穫の際、土作りやハーブの育て方、収穫物の利用、製作について通年講習会を開く。種蒔き講習は8回にわたり行ない、休耕田の特徴や土作り、ハーブに適した土作り、種の蒔き方や育て方、収穫の仕方までガーデンデザイナーによる指導を受ける。収穫物の活用、製作についての講習は12回、ガーデンで収穫できた花や葉をつかってさまざまな製品を作る。

事業の活動実績	種蒔き講習は8回実施。5月13日はひまわり、金ごま、イタリアンパセリ、コリアンダー、キャンピオンの種蒔き講習。雨模様だったが6名の参加。5月26日はポットマリーゴールド、レースフラワー、ヘリオトロープの講習、雨降り後のぬかるみの中7名参加。5月31日はワイルドストロベリーの講習。草焼きと土作りの説明。5名の参加。6月3日はラベンダーの講習。10名の参加。6月24日はナスタチウムの講習と休耕田の溝つくりについて詳しく考察。給水システムを作る。5名の参加。7月15日はコンポスト作りとローズマリーの講習。8名の参加。8月19日はローズマリーとラベンダー植え替えについて。11名参加。9月8日はローズマリーとラベンダー講習。12名の参加。収穫した花や葉で作る講習は12回実施。7月に4回、ハーブで作るナチュラルブーケとハーブで作る虫除けスプレー作り、各回7名から9名の参加。1月に4回、ハーブサシェとハーブピロー作り、各回5名から7名参加。2月に4回実施。ハーブキャンドルハーブランタン作り。各回4名参加。
---------	--



事業

②

事業の成果・効果	実施期間の中で100種類ほどのハーブを参加者と一緒に植えた、来る時によっていろいろなハーブが成長しているのが見れてとても喜ぶ様子が多く見受けられた。春は雨が多かったために作業もはかどらないように思えたが夏ごろになるとみんなで植えたハーブがぐんぐんと成長して休耕田にもハーブが育つ土壌ができる事がよく分かった。ローズマリーとラベンダーへの関心がとても強く冬になっても冬越しの仕方を教えて欲しいという要望もあり来年は冬の講習も行いたいと思う。また収穫物で作る製作講習ももっといろいろなものを作りたいとの声が多かったのでこの講習も来年多くおこなっていききたい。
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している 主な理由(2、3と答えた場合のみ) 休耕田をハーブガーデンにするための土作りの過程で予定より多くの土や肥料が必要となったため。
その他、評価すべき点等		

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自已診断です。

今後の事業展開	休耕田でも、土壌を改良してハーブが育つ事が実証されたので今後も引き続きハーブガーデンを広げていき、その過程で種蒔き講習やハーブの育て方講座を定期的に行なっていききたい。収穫したハーブの活用方法も、もっと増やして講座を開いていき、さらに多くの市民にハーブに親しんでもらいたい。山の中ガーデンのイベントに参加して下さった方にはハーブをいろいろな場所で増やしていきたいとの願いを込めてハーブの種や苗をプレゼントしてきたが佐久市と相談してさらにハーブをいろいろなところへ植える活動も行なっていききたいと考えています。
---------	--